



令和6年10月 川内市医師会在宅医療支援センター発行
 住所…薩摩川内市大小路町70番26号
 TEL…0996-22-4021
 FAX…0996-22-8114
 H P…https://iisennet.jp

QRコードより
 いいせんネット
 ホームページに
 アクセスできます



ケアマネな歯科衛生士の コラム

今回は 訪問歯科の お話

訪問歯科診療に関するご相談は在宅医療支援センターにご連絡ください。訪問診療以外でも、歯科に関する疑問などがありましたら遠慮なくご相談ください。

訪問歯科診療を受けるには

在宅医療とは、病気やケガなどで通院できない方が、現在生活している場所で治療や療養を受けることです。そこで今回は、訪問歯科診療について具体的にお話しします。

【訪問歯科診療の範囲】

対象になる場合	対象にならない場合(例)
疾病や傷病による通院困難者 (寝たきりや疾病の末期の方など)	歩くとふらふらして段差の移動などに不安がある 暑くて熱中症が心配だから家から出たくない
歯科医院から半径16km以内 (ただし圏内に保険医がない、いるが専門外、不在等やむを得ない理由がある場合は16km超過も可)	家族は仕事が忙しくて連れていけない 車がないから行けない
介護度だけで決められるものではない	タクシーはお金がかかるから来てほしい

訪問歯科診療でできること

虫歯の治療(詰める、銀歯を作る、神経の処置など)	義歯に関する治療(調整、新製など)			
歯周病の治療や管理(歯石除去・口腔ケアなど)	口腔に関する指導			
抜歯	顎が外れた	消炎処置等	歯周病や虫歯の検査	レントゲン検査

訪問歯科診療ではレントゲンなどの検査も含めてさまざまな治療を受けられます。ただ、限られた環境と機材で治療を行うため歯科医院受診時と同等の治療を受けられるとは限りません。そこで、可能な限り歯科医院を受診して詳細な検査を受け、最適な治療計画を立てていただくことをお勧めします。もしその後の通院が難しい場合は今後の受診方法について担当の歯科医師の先生にご相談ください。

川内市医師会在宅医療支援センター 歯科衛生士 川原宜子

ヤングケアラーとは

本来大人がやるべき家族の介護やお世話のために、学校や勉強、友達付き合いなどの時間や機会を思うようにとれない子どものこと。自分では当たり前なこと、仕方のないこととして捉えてしまうため、誰かに相談するなど声を上げることもほとんどないそうです。

専用のフリーダイヤルやLINEを設置していますが相談は非常に少ないです。周りの友達や大人が気づいてあげることも大切です。

- ・家庭の事情で外からはなかなか介入できない
- ・子ども自身が周りに知られたくないと隠す
- ・子どもがヤングケアラーだと認識していない

など、ヤングケアラーの支援はとても難しいといえます。声のない声に耳を傾けること、さまざまな職種と連携して支援の糸口を見つけることが重要であり、ぜひ協力してほしいと薩摩川内市社会福祉課相談グループの中島氏は訴えます。

【講師】
 薩摩川内市社会福祉課
 相談グループ長
 中島啓介氏

相談グループでは、現在公立小学校などを回って周知を図っています

第2回いいせんネット研修会

いかに異常を見つけるか～誰でもできる！お口の評価法～

【講師】 薩摩川内市歯科医師会 会長 銀屋一彦先生

高齢者の死亡や寝たきりを防ぐために歯科ができることとして、口腔機能の維持管理や多職種連携があります。そこで今回は「お口の中、何処が良くないかわかりますか？」を演題に講演があり、3つの症例を基にOHAT-Jという評価ツールを使ったグループワークを行いました。

OHAT-J: Oral health assessment tool 日本語版

参加者の声:

- ・同じ評価表を使うことで情報の共有にもわかりやすい
- ・口腔ケアの重要性について勉強できました

口腔の評価表 OHAT-J

OHAT-Jは共通のツールと指標で評価を行うので、連携時の情報共有をどの職種でも均一に行えるというメリットがあります。

繰り返し見る、聞く、考えることで口腔内の評価はスキルアップします。苦手意識のある方も、OHAT-Jなどのツールを積極的に活用してみることをお勧めします。

繋がる輪 支える輪

～甌の暮らしを支える地域包括支援センターの役割～

地域包括支援センター甌島圏域サブセンター 新川 哲也 カノコユリのマンホール

薩摩川内市地域包括支援センター甌島圏域サブセンター(以下サブセンター)は、令和5年4月に里・上甌地域を担当する上甌事務所と鹿島・下甌地域を担当する下甌事務所を統合し、甌島中央部に位置する鹿島町に新たに移転して業務を行っています。サブセンターは地域包括支援センター本所と同様、高齢者等が住み慣れた地域で尊厳を保持したその人らしい生活を継続できるようにするために地域包括ケアシステムの構築を目指し活動を行っています。

昨年甌島に調剤薬局が開業した際に医師を交えて情報の共有ができないものかと話があり、関係者の方々に相談させていただいたところ快諾をいただき、昨年12月に下甌地域で診療所・調剤薬局・居宅介護事業所の参加で毎月1回「情報共有会議」を開催することとなりました。この会議は各事業所が担当されている気になる利用者様、地域での気になる方々の事などを情報共有し、参加されている各職種からの情報や貴重な意見を共有し、医療と介護を繋ぐ場となってきています。また今年に入ってから訪問看護・訪問介護事業所の方々にも参加していただくことになり医療と福祉の連携が密にとれるようになってきています。甌島は本土地域と比較しても高齢化率や独居高齢者の割合も高い地域です。今後も地域住民・関係する方々との連携を密にしていきながらこのような輪を広げていき、地域の方々が安心して住み続けることができるよう支援していきます。

お知らせ

職員向け出前講座をお受けします

当センターの職員が無料で出前講座に参ります。部署勉強会等にご活用ください。
 【内容例】 ・在宅医療とは ・バイタルリンクの活用方法 ・口腔ケアの基礎知識
 ・毎日の口腔ケア ・義歯のお手入れ方法 ※その他相談に応じます。

